

柳営日記

寛文九年

十月

朔日

巳刻黒書院 出御如例御一門方 御對顔其外如例月御札

御刀 神尾播磨守

一 先月廿八日被 仰渡御條目不被相渡面々留守居^江 今日被相

渡之

(日次記は本院御所)

御院御所へ御鷹之鶴御進献

御暇時ふく二

當山二宿

御暇時ふく一ッ

豐藏坊 使僧
長床坊

長床坊

二日

一 松平加賀守家来足輕之者三人昨日芝神明^江參候由^二

奥^一
朔日^二出^三る

御城内入中御門番所大河内庄兵衛組中改之御目付衆^江傳

右三人共^二嶋田出雲守^江相渡其後御徒目付兩人相渡加賀

守^江被相渡之由也

一 松平大膳大夫内室昨日病死是松平越前守妹也

三日也^一
欠

一 今夜亥猪御祝^二付西后刻白書院 出御上段着座御祝之御餅

御三方載之備 御前同餅薄盤右之方^二置に出座頂戴次

第

松平讚岐守

井伊掃部頭

酒井雅楽頭

大澤兵部大輔

松平刑部大輔

松平播磨守

松平右京大夫

松平出羽守

松平大和守

本多内記

品川式部大輔

戸田土佐守

阿部豊後守

稲葉美濃守

畠山下總守

織田主計頭

上秋伊勢守

藤堂和泉守

毛利甲斐守

有馬中務大輔

小笠原遠江守

戸田采女正

内藤帶刀

土屋但馬守

松平遠江守

其外中大名衆

無官之高家

詰衆 同惣領

松平左近大夫

御留守衆

水野石見守

仙石因幡守

大目付

町奉行

宮崎若狭守

禁中 方

奈良奉行

土井能登守

永井伊賀守

御側衆三人

大御番頭

御書院番頭

御小姓組番頭

御旗奉行

御留守居衆

百人組頭

御鎗奉行

御持弓御持筒頭

三千石以上寄合

新御番頭

大御番頭惣領

御近習衆

御小姓衆

御小納戸

中 奥

法印法眼

御勘定頭

伊奈半十郎

御目付衆

御使役

御作事奉行

御普請奉行

御書院組頭

御小姓組与頭

惣御弓御鉄炮頭

田村四郎兵衛

井上左大夫

西丸御留守居

御松手頭

御徒頭

小十人頭

二丸御留守居

御納戸番頭

御腰物奉行

長崎奉行

芝水奉行

佐渡奉行

右之面々老人ッ出座拜領之此以下兩人ッ出

新御番組頭

御裏御門番頭

御廣敷番頭

御膳奉行

出合兩御番頭嫡子

右之面々兩人^ツ出是より^ハ三人^ツ出

御右筆
御鷹師頭
御馬預方
道奉行
御書物奉行
御小姓組
御書院番
新御番
大御番^{一組之内より}
御普請奉行
御金奉行
御腰奉行
御納戸与頭
御弓矢鍵奉行
御玉菓奉行
御具足奉行
御幕奉行
石奉行
川舟奉行
材木奉行
寄合子供
惣御納戸衆
御細工頭
殺生方
御賄方
御臺所頭
御勘定方
御代官
小十人
無官醫師
珎阿弥
圓阿弥
才阿弥
丹阿弥

右罷出御餅頂戴戊下刻事過^而入御

金阿弥
千阿弥

右^者戸田土佐守煩^ニ付御使被遣

吉良上野介

三日

勢州^ハ飛脚去月廿八日山田 御遷宮相濟之由吉良上野介
桑山丹後守注進

嶋原^ハ飛脚先月十八日城地松平主殿頭へ引渡之由申来
今晚玄猪御祝儀 御刀 松平紀伊守

四日

於評定所式日寄合稲葉美濃守出座也

重陽之 御内書被下之
五日^奥 一紀伊大納言殿依參府為 上使但馬守

五日

土屋但馬守

右^者昨日紀伊大納言殿當着^ニ付為上使被遣明日 御對顔
之由也

去朔日松平加賀守足輕三人 御城中へ来付^而中御門御番
所當番大河内善兵衛相改之捕之遂穿鑿之処道踏惑来之
由也右之族百人組御番所當番安藤彦四郎不改出之相通
之儀為不念之間向後入念可申旨彦四郎へ申渡

六日

太刀 金馬代 隱居後初^而
時服十 參勤御礼 紀伊大納言殿
於 御座之間 御對顔

尾張殿
水戸殿
松平左京大夫

右於御内所 御對顔是巫相御礼^ニ付^而也
巳下刻黒書院 出御參勤御礼

金馬代 時服十 稲葉能登守

一 同所御目付^ニ被遣候阿部四郎五郎^ハ先日御暇今日不罷出

五日^三出

去朔日松平加賀守足輕三人 御城中^江来付^而中御門番所
當番大河内善兵衛相改捕之遂穿鑿候處^ニ道路迷惑由也
右於百人組御番所安藤彦四郎不改為無念之間向後入念可
申付旨今日彦四郎へ美濃守被申傳之

御暇時^ハ五羽折 水野監物
〃^ハ三羽織 紀州家司
銀馬代^ツ 三浦長門守
銀馬代^ツ 原田市十郎
加納平次左衛門
松平九郎左衛門
松下佐五丞
福岡太郎八

大坂御目付渡邊吉左衛門儀於彼表當夏相煩為代阿倍四郎

五郎依被 仰付之其節 御目見黄金等被下之処吉左衛門
就本復四郎五郎事今般德永平八郎一所相越依之今日不
及御暇

七日

午后刻西丸 渡御御供

土井能登守
板倉筑後守
松平因幡守
御近習之面々

八日

於山里御馬 上覽御膳被召上申后刻 還御也
奥二枝隱岐守組御番衆

新院御所 女院御所 御鷹之鶴御進獻之宿次

大御番 戸田備後守組へ入 七郎左衛門子 遠山小左衛門
北条右近大夫組

瀧川兵衛守組
彦大夫子
清水平八郎

田中大隅守組へ入
松平加賀守足輕三人去朔日 御城中へ来捕之遂穿鑿之処
無異心難迷来被行死罪

九日 無事
北条安房守

八日也 欠
右者 氣色為養生一昨日知行所御暇被下之
松平加賀守家来先日 御城 来候足輕三人斬罪被 仰付妻子
御構無之

十日
申下刻二丸 渡御酉下刻 還御

吉良上野介勢州へ帰謁
紀伊並相甲府館林兩宰相へ御鷹之鶴被遣為御礼松平左京
大夫登 城

十一日
左馬頭殿右馬頭殿昨日鶴被遣候為御礼登 城
久世大和守病氣之様躰可被為 聞召為 上使内藤式部少輔被遣之

十二日
於評定所式日寄合有之 但馬守出座
午刻黒書院 出御

時服十 在所へ 脇坂中務少
時服五 御暇 稲葉右京亮
時服四 同 太田撰津守
時服三 在所へ 板倉伊豫守
銀馬代 駿府 加番掃 三浦越中守
熊泥障三懸 同 牧野平右衛門
切付三口 同
兩鞍覆三 同

御勝手手より
書棚一組 駿府 三枝撰津守
箱香 在番掃 大久保新八郎
拝領物 大坂 阿部四郎五郎
先日濟 御目付御暇
山吹之間 駿府
在番掃 撰津守組中

箱香 病後 松平隠岐守
紀實門使者

中納言殿御息女一條 綿百把 久野丹波守
御鷹中使者
大納言殿へ婚礼相渡付 時ふく十 海野五郎三郎
二衛三種 一衛二種 原田市十郎
紀實相使者

御臺様へ 綿百把 紀伊黃門
ちりめん三十卷 同 御鷹中
一荷二種 箱香 紀伊並相

十三日
尾黃門水宰相へ御鷹之鶴被遣 上使松平民部少輔
銀廿枚 國目付 板倉英後守支配
久保平兵衛
同断 同 松平民部少輔支配
小笠原弥左衛門

右兩人佐州水損之領為見分近日可被遣宗被仰付御暇
尾中將水宰相昨日 上使被遣物之為御礼登 城

十四日
御暇時ふく四羽折 久野丹波守
高田様本理院様千代姫様 御鷹之鶴如何例年奥方より被進之

十五日
已下刻黒書院 出御御一門方 御對顔過 白書院 如何例
月諸大名御礼有之

御座之間
箱香 湯治 酒井河内守
右御目見也 中山藤兵衛
進物香 飯河傳右衛門
富田大學
西尾七兵衛

右四人去 二日御礼之時分御進物杯出儀、無用可仕旨也
銀馬代 參勤 内藤飛騨守
根矢百筋 東卷 參府 金地院
尾州 權僧正御礼 親心院
進物 初 鹿塩八郎右衛門
角倉市丞

角倉与一郎
上林味下

日門へ九月為御折禱料銀百枚被遣之 上使織田主計頭
紀實門へ御鷹之鶴被遣因元へ宿次

十六日 無事

十七日
紅葉山御宮為御名代土屋但馬守參拜也
梶左兵衛督
於御座之間 御目見日光之儀御尋也
板倉筑後守
松平民部少
松平因幡守

右之通下屋敷被下之
梁田隠岐守
加藤源四郎
土屋傳右衛門
鈴木九左衛門

右相對次第屋敷替可仕旨老中傳之
十八日
駿府在番中善惡御改有之老中出座
駒井次郎左衛門
三枝撰津守組中

大和守葉十月十七日より井関玄悦可被替由
十九日
青山大膳亮老母死去也
遠州信州御代官宮崎三左衛門引負在之 付御勘定仕立可
申旨先年被仰付候処御算用之内三左衛門死去依之子息仁
左衛門藤右衛門三左衛門御勘定相濟三年御勘定埒明不申
候 付仁左衛門藤右衛門今日評定所 被召寄遠嶋被仰付候
旨高木伊勢守土岐十左衛門嶋田出雲守列座被 仰渡之
官崎仁左衛門

御禮衆
本庄
淺草 堀田豐前守上ヶ屋ノ内千五百坪
牧野佐渡舞下屋敷陸ノ三千坪
同町屋敷之方 三千坪

晦日
未下刻二丸 渡御馬 上覽申下刻 還御
御暇時つく式ッ
堀川近江
一係殿父子使者
堀川近江
御内室使者
同
佐治弥五兵衛

御鷹之鶴被下
上使御使番
松平謙岐守
松平相模守
松平安藝守

谷川儀左衛門

柳宮日記記
寛文九年
閏十月

朔日

已上刻黒書院 出御 御刀 能勢孫津守 御一門方 御對顔過

白書院 出御如例諸大名 御目見終 御勝手より

服部備後守
時服三
羽折服
京へ
御暇
小金巾木めん
長崎
御札
参上
御禮
幸手
進物
峯入部
江戸
大覚院

川野権右衛門

御代官宮崎三左衛門手代松嶋助兵衛儀三左衛門大分引負仕候
処手代役召仕異見無之同意之仕合不屈被 思召急度雖被
仰付三左衛門病死之事候間御免有之因々追放被 仰付

閏八州京 大坂堺 奈良 伏見 東海道筋 木曾路筋 駿河 甲斐
信濃 遠江

二日

御機嫌伺柿一箱

粟津大學
東本願寺使者

三日

已下刻角田川筋^江為御鷹野 出御御道筋大手々本町兩國

橋通御供

永井伊賀守

板倉筑後守

松平因幡守

御目付

松平美作守

土井能登守

松平民部少

本城御留守居

角田川御殿^二御膳被召上羽芝より御船^二辰ノ口迄被為
召申下刻 還御御物敷御奉 白雁一 白鳥壹脇鷹^二黒
鶴二 白鳥二 鷺三 雁十四 白雁真雁六 鴨廿五之内真鴨十四 小
鴨七 黒鴨老口鴨一也
御物敷五十一

先月廿八日也

知恩院御門跡^江如例米三百俵被遣之吉良上野介傳之

今日 出御之御鷹師共子共殺生方之子共初^而 御目見

於乗物下馬

清右衛門美子

長田傳左衛門

尾関甚左衛門

中田甚右衛門

源三郎

林 左兵衛

真野六郎左衛門

井口八兵衛

神谷作兵衛

阿部小左衛門

西川孫左衛門

野尻平兵衛

宮田治左衛門

志村金之丞

吉田甚左衛門

間宮喜左衛門

新見平右衛門

志村八兵衛

右人数三十五人

四日

於評定所式日寄合土屋但馬守出座也

昨日之御鷹之雁被遣

雁老

雁式

鴨式

鴨式

鴨式

鴨式

鴨式

鴨式

鴨式

鴨式

鴨式

鴨式

上使大久保出羽守
紀伊大納言殿

松平内記
甲府宰相殿

同
館林宰相殿

永井對馬守
尾張中納言殿

柴田七郎
水戸宰相殿

大森信濃守
保科肥後守

高田御方
本理院御方

千代姫君へ雁一ツ被遣之

鴨一ツ被遣之

鴨一ツ被遣之

鴨一ツ被遣之

鴨一ツ被遣之

御奉 白鳥式 白雁式 脇鷹^二 鶴式 白鳥式 雁十四 雁金式

鴨廿五 鷺三 水札一

源之丞子

羽田与左衛門

次郎左衛門子

乾 長大夫

三左衛門美子

遠藤七左衛門

惣左衛門子

真野藤左衛門

六左衛門美子

三橋弥治兵衛

五郎八郎子

渡辺次郎右衛門

惣内子

齋藤彦右衛門

七右衛門美子

野村三郎右衛門

久兵衛子

林 儀右衛門

善右衛門子

木村善左衛門

勘左衛門美子

阿部勘十郎

兵左衛門美子

石川兵八郎

三郎左衛門美子

蜂屋庄五郎

權兵衛子

清水權之助組

吉田八右衛門

戸田七之助組

与右衛門子

佐々弥五右衛門

庄右衛門美子

木村作左衛門

間宮左衛門組

志村又右衛門

禁裏へ御奉之白鳥御進献之

五日

一 昨日御鷹野當冬初^而被為^二成候^三付御褒美被下面々

時服三 伊奈半十郎

羽折 間宮左衛門

同断 御預之御鷹^二鶴提之候^三付被下之

時服三 清水權之助

羽折 加藤伊織

時服二 戸田七之助

羽折 同断

同断 小栗長右衛門

銀二十枚 加藤午之助

同断 小野吉兵衛

同断 大平角助

銀十枚 佐山角左衛門

同断 御手鷹匠四人

銀五枚^{ツツ} 加藤權右衛門

金拾兩 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

同断 御手鷹匠

八日

二九 渡御

柳生飛驒守

同 大膳

右御座之間被為召之御兵法被^二仰付之^三

品川式部大輔事來月女御入内^二付松平美作守^三相添可被遣旨

九日

午上刻西丸^江渡御御供

永井伊賀守

松平民部少

松平因幡守

御近習之面々

昨夜丑刻上野求聞堂より火事出来不残焼失

御入内之日限來月廿一日之由美作守發足來月朔日之由

一 山里^二御馬^三上覽御膳被召上未下刻^四還御

一 奥三枝隱岐守^二堀尾田對馬守^三繼御番衆

十日

巳下刻黒書院 出御

松平丹後守

鍋嶋和泉守

松平孫次郎

日野權十郎

榑原太郎兵衛

山岡愛藏

秋山源十郎

根岸長次郎

加藤彌兵衛

瀬名太三郎

天野勘四郎

山高庄右衛門

由良信濃守

箱肴

知行所掃

松平龜千代^江御鷹之鶴被下之^二上使御使番

同断

同断

同断

本多越前守 十

奥平大膳 八

松平駿河守 十一

本多飛驒守 十二

松平宮内少 廿五

松平筑後守 廿六

諏訪因幡守 十五

鳥居兵部少 十四

土岐山城守 廿八

小笠原土佐守 十六

西尾隱岐守 十七

松平佐渡守 廿三

本多山城守 廿

松平將監 廿七

本多隱岐守 廿四

牧野遠江守 廿一

稻垣信濃守 十九

井伊伯耆守 十三

右之面々山吹之間雁之間^二御料理被下之^三

松平出羽守 欠

松平隱岐守 四

本多中務大輔 欠

本多肥前守 廿式

戸田伊賀守 十八

右^者登^者城無之

右振舞過^而巳下刻黒書院 出御

松平讚岐守

井伊掃部頭

右一同罷出御禮次に

松平美作守

其外御譜代大名兩三度出座 御目見重^而

松平美作守

御直に被為 召十二月御入内^二付被為御使可被遣旨可致支度

御直に被 仰出畢^而入御也

御前へ重^而松平美作守被為召來月御入内^二付御使被 仰付用意

同断

同断

今日御譜代大名^江去^ル三日御狩之鶴御料理被下^二付各登^三城

松平讚岐守 一

井伊掃部頭 二

本多内記 七

松平美作守 三

小笠原遠江守 五

戸田采女正 六

内藤帶刀 七

牧野飛驒守 九

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

十一日

来月廿一日 女御入 内_二付御祝儀

禁裏へ金三枚 女御へ銀二十枚 女院へ同断

尾張黄門 紀伊黄門 甲府殿 館林殿 水宰相

松平加賀守 松平越前守 井伊掃部頭

禁裏へ金式枚 女御へ銀十枚 尾張中將

禁裏へ金老枚 女御へ銀十枚 水戸少将

禁裏へ金三枚 松平新太郎 松平大隅守 松平相模守 松平安藝守 松平大膳大夫

女御へ銀廿枚 ツツ 細川越中守 松平右衛門佐 松平丹後守 藤堂和泉守 松平龜千代

禁裏へ金式枚 松平越後守 松平讃岐守 保科筑前守 酒井雅楽頭

女御へ銀十枚 女院へ同断 佐竹修理大夫 森内記 松平淡路守 丹羽左京大夫 松平出羽守

禁裏へ金式枚 ツツ 松平天和守 本多内記 松平下總守 松平土佐守 有馬中務大夫

女御へ銀十枚 蜂須賀千松 上秋喜平次

阿部豊後守 稲葉美濃守 久世大和守 土屋但馬守

女御へ銀十枚 女院へ同断 板倉内膳正 牧野佐渡守 松平美作守

禁裏へ金一枚 松平但馬守 伊達遠江守 宗對馬守 織田山城守

女御へ銀十枚 ツツ 先月廿三日同廿四日兩日蝦夷人以上五十五人或討取或搦捕之由

從松前八左衛門松前兵庫所へ申越候由注進状津輕越中守より到来

紀黃門使者 山高庄右衛門

御暇時ふく三

十二日

天子 御太刀馬代金三枚 女御御方 白銀式拾枚

女院御所 白銀廿枚

右之通被差上候様昨日土屋但馬守申渡之右松平美作守差

上物也

今度松前蝦夷之儀先月廿三日廿四日兩日之内夷人上下五

拾五人討捕落着仕候由松前八左衛門津輕越中守より閏十月

六日之日付_二而 今日注進之上則越中守_一 奉書被遣之八左衛

門_一も早々参着可仕旨以奉書被仰遣之

麻布筋へ為御鷹狩 御成

御物敷 御奉雁三

此外四十三 真鶴一 雁廿 雁金五 鴨十二 水札三 鷺一 鴉一

式日 出座美濃守

於評定所式日寄合稻葉美濃守出座也
辰下刻浅布筋為御鷹 出御御道筋櫻田より外櫻田永田馬
場赤坂御門通御供

土井能登守

松平民部少

松平因幡守

御近習之面々

麻布御菓園_二而 御膳被召上申后刻 還御御物敷

御奉_二而 真雁二白雁老脇鷹_二而 真雁老雁二十鴨十二鶉老

水札三鷺老都合四拾六

来月三日御入_二付以使者御祝儀被献之衆

尾張中納言殿

紀伊中納言殿

甲府宰相殿

館林宰相殿

水戸宰相殿

松平加賀守

松平越前守

井伊掃部頭

右_者 禁裏_江 御太刀金三枚 女御_江 銀二拾枚 女院_江 同し

右_者 禁裏_江 御太刀金式枚 女御_江 銀十枚 女院_江 同し

尾張中將殿

水戸宰相殿

松平新太郎

松平大隅守

松平相模守

松平安藝守

松平大膳大夫

細川越中守

松平右衛門佐

松平丹後守

藤堂和泉守

松平龜千代

右_者 禁裏_江 御太刀金式枚 女御_江 銀十枚 女院_江 同し

保科筑前守

酒井雅楽頭

佐竹修理大夫

森内記

松平淡路守

丹羽左京大夫

松平出羽守

松平大和守

本多内記

松平下總守

松平土佐守

有馬中務大夫

蜂須賀千松

上秋喜平次

宗 對馬守

織田山城守

松平但馬守

伊達遠江守

牧野佐渡守

板倉内膳正

松平美作守

土屋但馬守

阿部豊後守

稲葉美濃守

右_者 禁裏_江 前同 女御前同 女院前同

右之通老中より相觸

十三日

麻布御菓園_江 銀拾枚池田道陸右昨日被為 成候_二付被下候

昨日御狩之御奉之雁一ツツ 高田御方 本理院御方 千代姫君へ被遣之
上使松平内記 井伊掃部頭へ 御鷹之鶴式

十四日

御奥方御好之御作事出来^ニ付御褒美被下之

時服^三
羽折
同^二
羽折
同断
同銀五枚ツツ

奉行
本多美作守
小普請奉行
溝口佐左衛門
神谷長五郎
御被官大工
大石忠左衛門
依田喜左衛門
鎌田庭雲
御底作
同^人子
同 甚右衛門

銀子五枚
三枚

右之通被下之

御鷹之鴨被下 松平大膳大夫 松平丹後守

十五日

巳下刻黒書院 出御御一門方 御對顔畢^而白書院 出御如

例月御礼

銀馬代 參勤
裏付御袴五下 京 泉 涌 寺
三束老巻

永井日向守

是^者伽羅堂御造宮被 仰付出来^ニ付御礼右御目見御礼終^而老
中間之御袂障子開之御次之間伺公之面々

箱者 湯治婦 松平修理大夫
御礼 薰物 若王子 勝仙院之使僧
太刀目録 參府 松下伊賀守
一束一包ツツ # 武田道安
同 泰安

御威ツツ 勢州長官名代
神生惣代
(日次記は神主惣代)
年寄惣代
春木大夫
山本大夫
御代官
天羽七右衛門

箱者 參上
尾張殿御礼之節鷹場へ御暇被 仰出松平撰津守可有同道旨
松平加賀守御礼之節鷹場へ御暇被 仰出

十六日 無事

十七日

紅葉山御佛殿御名代稻葉美濃守參拜也

一 二九^江八^ッ半時被為 成候由也
屋敷替之輩有之

十八日

去頃被仰出候十ヶ年以後御番改之衆今日招殿中依之午刻
御表^江 出御雁之間芙蓉之間山吹之間菊之間御番衆面々
並居一同 御目見御褒美被下旨番頭^江 御直に被仰出之

此件不殘別紙^三認

金五枚皆勤十年間 金三枚上々勤十年内煩^二御礼 金貳枚

上勤十年内十二御免

右之通被下 御小姓組百人 御書院番七拾五人 新御番三拾三人
人 御腰物御菓込衆八人 御納戸十四人 御腰物奉行八人 小十人
十六人 御右筆十五人 大御番^二条大坂^{番除之} 九拾三人
右三百六拾老人

小十人組、皆勤金三十兩上々勤同廿兩上勤十兩被下之

御番改御褒美被下面々

内藤十郎兵衛
木村善左衛門
高木六兵衛
蜂屋源五兵衛
水野長兵衛
關 五郎兵衛
小林吉大夫

都築二郎右衛門

石川源右衛門

山角藤五郎

小笠原傳兵衛

河野九郎右衛門

長田与右衛門

曲淵市大夫

大久保平三郎

岡部權之助

糟屋弥右衛門

御納戸^{吉勤} 鈴木市郎兵衛

御納戸^{上勤} 加藤甚右衛門

山田善右衛門

上田宇右衛門

遠山三左衛門

宇佐源五右衛門

池田勘兵衛

永井助十郎

名取三郎右衛門

小林又右衛門

土井喜兵衛

竹尾喜右衛門

平賀三五郎

宮重久右衛門

御腰物奉行 富永七兵衛

加茂官治兵衛

戸田六郎左衛門

石野七左衛門

新御番衆

井出七右衛門

朝比奈孫大夫

大澤權六郎

御腰物持 須田喜兵衛

上々勤 萬年傳兵衛

庄 与左衛門

御菓込 鈴木八郎右衛門

下山甚右衛門

諏訪久右衛門

石川助之進

宮崎彌五兵衛

原田藤四郎

井出三左衛門

廣戸源右衛門

北村市左衛門

久保新右衛門

高井介十郎

上勤

上勤

上勤

上勤

上勤

上勤

上勤

上勤

上勤

上勤

上勤

上勤

上勤

上勤

上勤

上勤

上勤

御小姓組

疋田源右衛門

大井三郎右衛門

河内源五兵衛

朝比奈藤右衛門

杉浦半左衛門

北嶋久左衛門

森 新兵衛

久保五兵衛

杵浦源右衛門

久保金左衛門

大橋長左衛門

大橋左兵衛

飯高七兵衛

半部与兵衛

鈴木甚五右衛門

井出二郎左衛門

神尾五左衛門

小嶋二郎左衛門

大河内市郎右衛門

宮崎主水

高山平左衛門

妻木傳兵衛

設楽市左衛門

中山伊右衛門

岡部源右衛門

宮崎七右衛門

佐々喜兵衛

内藤左七

西尾七兵衛

中坊長兵衛

椿井喜兵衛

若林長十郎

青山源右衛門

三宅大學

安部彌十郎

村越左兵衛

山角清兵衛

神尾彌右衛門

久世兵右衛門

興津五郎兵衛

井出太左衛門

牧野數馬

佐橋半左衛門

蜂屋源右衛門

小倉彌右衛門

服部三郎左衛門

石川庄次郎

小倉十兵衛

建部宇右衛門

浅井權十郎

本多奎之介

市岡左大夫

山崎十兵衛

藤堂數馬

折井市左衛門

市橋甚四郎

甲斐庄四郎右衛門

富永孫大夫

西尾甚之助

依田源二郎

西山八兵衛

德永權十郎

新庄甚介

牛込傳左衛門

高林与五右衛門

初鹿野一郎兵衛

松前八左衛門

岡部三右衛門

柴田權兵衛

曾根五郎兵衛

宮城主殿

能勢半十郎

北條左近

酒井小平次

飯田三左衛門

酒井作右衛門

神尾三郎右衛門

品川權大夫

三枝長兵衛

伊奈甚之丞

設楽三左衛門

神保又左衛門

稻葉勘右衛門

德永三左衛門

立花与兵衛

須田三郎兵衛

秋田平大夫

細井金五郎

高木忠右衛門

石卷八郎左衛門

春田宇右衛門

天野六郎左衛門

服部久右衛門

井戸甚之丞

川口茂左衛門

森 才兵衛

跡部宮内

山崎勘兵衛

堀 八郎右衛門

山岡八郎右衛門

上田太左衛門

久松彌一郎

中山丁之丞

水野十左衛門

都合百八人

御書院番

皆勤

中根喜兵衛
 戸田三郎左衛門
 小幡五左衛門
 大澤左兵衛
 伊藤傳五郎
 川合三郎兵衛
 松平 源介
 間宮又左衛門
 蜂屋傳右衛門
 小笠原伊兵衛
 加藤源右衛門
 青山半兵衛
 倉橋惣三郎
 松平甚兵衛
 榊原傳左衛門
 細井仁兵衛
 神 左兵衛
 大岡甚十郎
 中山左兵衛
 神尾五郎大夫
 間宮一九郎
 松平新右衛門
 荒尾平九郎
 平野九左衛門
 渡邊久助
 興津内記
 土屋市郎兵衛
 秋山十兵衛
 脇坂甚兵衛
 松下与兵衛
 松平助四郎
 遠山久四郎
 宮城監物

上勤

兼松又四郎
 最上内膳
 小笠原八右衛門
 向井八郎兵衛
 榊原左平次
 戸田三十郎
 堀 三左衛門
 大久保右衛門八
 中野傳右衛門
 曲淵与左衛門
 岡野平兵衛
 内藤權九郎
 川合源三郎
 五味小平次
 長崎彌左衛門
 井戸甚助
 阿部八之丞
 大岡勘右衛門
 瀧川久三郎
 溝口孫左衛門
 富永源右衛門
 大久保權右衛門
 内藤三郎兵衛
 押田五郎大夫
 朝比奈八大夫
 石卷三左衛門
 多門左次兵衛
 本多主膳
 永井平兵衛
 久松市左衛門
 山下五郎左衛門
 三浦甚五兵衛
 伊奈五左衛門
 前嶋久三郎
 林 權左衛門

人数八十人

大御番方

皆勤

渥美九郎兵衛
 榊原權七郎
 小澤彦大夫
 井戸新右衛門
 室賀七三郎
 戸川内藏介
 佐久間源四郎
 津金理右衛門
 富田大學
 渡辺与右衛門
 松平甚五右衛門
 遠山忠三郎
 杵浦武兵衛
 桑山主水
 土方宇右衛門
 徳永頼母
 土岐源右衛門
 天野孫助
 長谷川孫左衛門
 能勢八左衛門
 妻木傳藏
 松平六左衛門
 多門藤兵衛
 青木又右衛門
 阿部傳八郎
 天野彦兵衛
 小林彦兵衛
 斎藤久右衛門
 佐橋三左衛門
 戸田源兵衛
 柳原彌左衛門
 佐々木新左衛門
 大久保源左衛門

駿府在番
同

澤次郎右衛門
淺井傳八郎
久留半左衛門
須田太郎左衛門
深尾五郎右衛門
三輪新五兵衛
小 七郎左衛門
佐橋傳右衛門
天野三郎右衛門
小尾源右衛門
千村八左衛門
川副金左衛門
榊澤四郎兵衛
大岡宇右衛門
大坂在番
津田三左衛門
同
間宮孫兵衛
同
竹尾傳左衛門
同
太田助之丞
同
馬場一郎右衛門
同
渥美平右衛門
大坂在番
飯田治左衛門
二条在番
算新左衛門
同
村上彦太郎
同
永田孫二郎
同
竹本武兵衛
同
中根又兵衛
同
勝二郎右衛門
同
鈴木九左衛門
同
間宮次郎兵衛
上本勤
佐橋忠左衛門
山川三右衛門
水原六郎左衛門
山角文左衛門
向坂六郎五郎
秋山源五右衛門

高木又兵衛
赤井七郎兵衛
山角治郎右衛門
藤川庄次郎
山岡傳五郎
三枝八郎左衛門
岡部八郎五郎
曾根甚左衛門
小田切太左衛門
大坂
高林与三左衛門
同
永田權左衛門
成瀬源五兵衛
二条
飯高与兵衛
坪内藤七郎
大久保源太郎
櫻井甚左衛門
近藤源三郎
久保田与右衛門
服部久右衛門
長田平九郎
本多八左衛門
小尾十郎右衛門
坂部八郎左衛門
勝屋勘左衛門
山中市兵衛
松風理左衛門
西山喜六郎
小笠原久左衛門
朝比奈五郎大夫
久留善四郎
福井勘兵衛
渥美太郎右衛門
土屋二郎左衛門
金田惣八郎
米倉半左衛門

伊東九郎左衛門
土屋四郎兵衛
佐橋惣左衛門
川上六郎左衛門
小林七郎兵衛
加藤平兵衛
天野孫兵衛
駒井孫四郎
鈴木甚左衛門
本多三左衛門
三輪彦左衛門
市川瀨兵衛
岩間八郎右衛門
山寺五郎左衛門
鈴木三左衛門
伴新五右衛門
伏見勘十郎
三雲新十郎
伊勢平左衛門
水野九右衛門
淺羽孫三郎
山角權之丞
遠山源兵衛
入野又兵衛
竹内三郎兵衛
大久保九兵衛
大井理兵衛
小栗五大夫
小林三郎左衛門
田沼五郎兵衛
小林勝之介
大坂
幸田七左衛門
都築平右衛門
高林甚右衛門
春日五右衛門

定田一郎左衛門
本多甚兵衛

永田七郎右衛門
河内与左衛門

松下忠兵衛
榑原五郎左衛門

菅沼友右衛門
小小平介

窪田八兵衛
石原十左衛門

神谷介左衛門
小嶋三左衛門

本多十左衛門
青柳新五右衛門

窪田兵大夫
夏目庄左衛門

朝比奈新太郎
佐藤傳介

多田八郎左衛門
牛奥勘十郎

小林甚左衛門
深尾四郎兵衛

山田半右衛門
清原又左衛門

井西主馬
坂井采女

戒光寺

銀十枚

時ふく式

望月十左衛門

御基象戲被 仰付

尾張黃門御嘗廣幡大納言殿去十六日於京都逝去也

於評定所式日寄合有之

廣幡大納言去十六日逝去

御鷹之雁式

御鷹之雁被下

於御座之間御鷹之鴨雅菜頭豊後守拝領之

増上寺御佛殿為御名代稻葉美濃守参拝也

御鷹之雁 上使を以被下

御鷹之雁 上使を以被下

内百年寄 大膳

外百年寄 坂二郎右衛門

春木大夫名代 村山八左衛門

山本大夫名代 望月十左衛門

松平左京大夫 松平但馬守 宗對馬守 伊達遠江守

松平土佐守 藤堂和泉守 蜂須賀千松

松平越前守 御鷹之雁被下

松平右京大夫 松平大和守 本多内記

毛利甲斐守 有馬中務大輔

甲府殿館林殿へ 上使土井能登守鷹場へ御暇被遣之御鷹三連

上林味卜

御鷹之雁 上使を以被下

御鷹之雁 上使を以被下

服部備後守御暇罷上付 禁裏へ御書籍被進之

女院へ御香盆二欄絹五卷被進之

一 二十一史 一部 一 資治通鑑綱目 一部

一 四書大全 一 二程全書

一 五經大全 一 朱子語類

一 太平御覽 一部

雁式 松平撰津守 松平出雲守 立花紅雲

雁一ツ 奥平大膳亮 牧野飛騨守 本多越前守 松平将監 諏訪因幡守

本多飛騨守 島居兵部少輔 松平駿河守 土岐山城守 戸田伊賀守

本多中務少輔 御目見直 御暇被下時ふく三被下

佐竹修理大夫因へ御鷹之鶴被下之宿次當年初在所付也

已刻黒書院 出御御礼 尾張殿

右鷹場 御暇故登 城無之 松平撰津守

白書院 出御如例月御礼 片桐石見守

時服式 參勤 松平筑前守 能勢惣十郎 渡邊吉左衛門

御暇

御暇

御暇

御暇

御暇

御暇

御暇

御暇

御暇

御暇

御暇

御暇

御暇

御暇

御暇

館林殿鷹場ノ拝領之御鷹捉之雁式被獻之使者前田孫市直^三御
暇時ふく三被下之
久世大和守へ御鷹之雁式被下御使遠山半左衛門

寛文九年閏十月十八日

一 自亥年去年申迄十ヶ年之間御番改之儀當春被 仰出之依
之右勤番之輩今日 殿中^上召之御番無辨意相勤大儀被 思召
為 御褒美黄金被下候旨 上意之趣雅來頭傳之豊後守美濃守
但馬守能登守伊賀守列座

新御番 御右筆 御腰物奉行 御納戸衆
席二ヶ所 新御番所南之方
御小姓組 御書院番 大御番 小十人組
白書院東之方

一 午后刻黒書院 出御右之諸番頭一同出座 御目見何も組中
御褒美被下候御札也其後山吹之間^出御
雁間芙蓉間竹間^二 御小姓組 御書院番 御右筆
菊間同縁通芙蓉間縁通迄 大御番 新御番 御腰物奉行
御納戸 小十人組

右之通並居一同奉拜謁其節御番勤仕之輩何も黄金拝領難有奉
存候旨雅來頭言上之此時勤番折骨之由 上意有之^而 入御
勤之品
十ヶ年之間 煩断一も無之^ハ 皆勤
十ヶ年之間 煩々断一二有之^分ハ 上勤上
十ヶ年之間 煩断三ヨリ十二迄有之^分ハ 上勤
黄金拝領之員数
皆勤六拾九人 黄金五枚ツ
上勤上百人 同 三枚ツ
上勤式百拾六人 同 二枚ツ

右之外小十人組皆勤式入金三拾兩ツ上勤上四人金貳拾兩ツ
上勤十人金拾兩ツ
都合人数四百老入
御小姓組九人 御書院番九人 新御番四人
大御番四十二人 御右筆三人 御腰奉行一人
御納戸一人 小十人組二人

御小姓組
酒井采女組
宮崎主水
松平監物組
中山伊右衛門
大久保出羽守組
内藤左七
植村志摩守組
間宮三郎九郎
土屋兵部少輔組
渡邊久助

御納戸一人 小十人組二人
御書院番九人
御腰奉行一人
御腰物奉行
御納戸

御書院番九人
御腰奉行一人
御腰物奉行
御納戸

御書院番九人
御腰奉行一人
御腰物奉行
御納戸

大久保彦兵衛組
大沢権六郎
戸田相模守組
戸田源兵衛
酒井伊豫守組
間宮孫兵衛
同組
馬場十郎左衛門
本多伯耆守組
浅井傳八郎
大久保右京亮組
村上彦太郎
中根日向守組
深尾五郎右衛門
植村土佐守組
飯田惣左衛門
同組
飯河次左衛門
内藤若狭守組
天野二郎右衛門
水野周防守組
鈴木九左衛門
御右筆
森 新兵衛
御納戸
鈴木一郎兵衛

御小姓組十九人 御書院番十二人 新御番十六人 大御番廿六人
上勤上百四人
御右筆十人 御腰物奉行六人 御納戸十一人 小十人組四人
御書院番
御腰物奉行
御納戸
御小姓組

御書院番
御腰物奉行
御納戸
御小姓組

御書院番
御腰物奉行
御納戸
御小姓組

御書院番
御腰物奉行
御納戸
御小姓組

御書院番
御腰物奉行
御納戸
御小姓組

御書院番
御腰物奉行
御納戸
御小姓組

御書院番
御腰物奉行
御納戸
御小姓組

御書院番
御腰物奉行
御納戸
御小姓組

御書院番
御腰物奉行
御納戸
御小姓組

御徒頭
高田庄右衛門組より
瀧川庄大夫
御徒目付より
加藤仁兵衛
御鳥見兵衛子
粟津又八

右兩人、御鳥見被仰付之

御徒
大同五郎左衛門組
千種六郎右衛門
大場源五左衛門
水野小右衛門
朝倉仁左衛門組
北條新藤組
富永孫左衛門組
御徒押
湊 五右衛門
塩野谷平助
鈴木七郎右衛門

右三人、徒押被 仰付

増田太左衛門
安藤兵右衛門
武野源右衛門
御挑灯奉行被 仰付火之番十三人被 仰付是役人之子

共也
去朔日 禁裏 女御 法皇 女院 御入内 御臺様より
一荷二種 差添被遣之
御拾總二
御夜物式
松平美作守

右登 城於御座之間 御目見御羽折老 禰領之
松平美作守
稻生太左衛門
関 孫左衛門
奈佐安右衛門
中野三郎左衛門
高野十右衛門
石黒平左衛門
宮川治左衛門
伊藤源右衛門
佐野太郎兵衛

右拾三人被 仰付候

柳生甚左衛門
原田七右衛門
川崎市右衛門
片岡兵右衛門
尾黄門使者
寺尾弥右衛門
松平撰津守使者
水野太左衛門
本間十右衛門
親世大夫

酒井河内守於御座之間雁式被下之
左馬頭殿鷹場石原へ
御案子御香被遣之 奥御所掃頭
右馬頭殿鷹場種馬へ
御案子御香被遣之 同断
尾黄門鷹場へ
御鷹二連登 被遣之
上使 石川美作守
上使 大久保出羽守
堀田對馬守
松平出羽守へ 上使御使役御鷹之鶴被下之當年初也
高田庄右衛門組之祖頭病死 付瀧川庄大夫被 仰付之
尾張殿鷹場へ上使堀田對馬守以御鷹二居被遣之
松平出羽守へ當年始て御鷹之鶴被下之

四日 於評定所式日寄合稻葉美濃守出座

尾張中将登 城是黃門鷹場へ昨日 上使堀田對馬守被遣御礼也
左馬頭殿右馬頭殿鷹場へ昨日 上使之御禮嶋田淡路守曾我伊賀守
被差上之兩人 御目見為御暇時ふく三羽折 被下之
尾黄門使者寺尾上佐昨日 上使被遣御礼也
松平撰津守使者昨日黃門へ 上使之御礼也

五日 已下刻於御座之間參勤御礼

御臺様へ
箱細十卷
銀五枚
女中有差
獨々掛十間
大金馬代錄
青山因幡守
六日 無事
七日 無事

八日 夜入於御座之間舞被 仰付之

右之通被 仰付之

夜打替我
幸若彌次郎
同 次郎右衛門
中川勘三郎
九日也

右父飛騨守於京都去三日 中風被致候 付彼地へ御暇被下候
旨老中被仰渡之
左馬頭殿右馬頭殿鷹場之拜領之鷹捉候鴨式 被献之右使者御暇
時ふく式
須田平左衛門
右馬頭殿使者番頭
朝比奈内記

九日

細川越中守之八代蜜柑十箱 御香献之
高田御方本理院御方千代姫君へ八代蜜柑一箱 被遣之
御暇銀廿枚時ふく式
保生大夫
春藤權七
板倉筑後守
右評定所 被遣是 去六日之九日迄毎日寄合公事訴訟承之
大儀に被 思召之由也
尾黄門鷹場之使者石川助九郎雁鴨被献之
日門へ 上使由良信濃守 知恩院御門跡へ 上使上秋伊勢守八代蜜
柑被遣之

十日 無事

十一日

松平因幡守
右姪之差合 付登 城無之是 同姓伊勢守娘死也
御菓種一箱 尾黄門 紀黄門 水宰相へ被遣之
於御座間留林殿御對顔雁式被献之昨日鷹場之婦府 也家老
曾我伊賀守室賀下總守大久保和泉守 御目見

十二日

於評定所式日寄合在之 御馬守出座
紀伊亞相へ 上使石川美作守八代蜜柑一箱被遣之

火之番へ

廿日

上野御佛殿^江為御名代稻葉美濃守參拜也

去十四日^出

土屋忠次郎^江申渡之覚

一 土屋忠次郎事春日式年之御造宮五師役者計^江裁判^二如何様にも可申付忠次郎様子承届存寄於有之^ハ差圖可仕旨申渡

欠^奥一

夜に入於 御座之間舞被 仰付

張良^{張良}
ヲヒサカシ

幸若弥次郎
同 宇右衛門

左馬頭殿右馬頭殿へ松平内記を以八代蜜柑一箱^{ツツ}被遣之

廿四日

増上寺御佛殿御名代土屋但馬守出座也

廿五日

巳下刻黒書院 出御

時服六 祝言相済
御礼

松平出羽守

時服五 有馬中務大夫

酒井修理大夫

時服四 秋田安房守

松平志摩守

時服三 戸田大學

伊賀守次男

時服二 初見

細井佐治右衛門

時服一 參勤

妻木彦右衛門

右御目見過^而

御勝手より

參府 新田關參見分
婦 妻木彦右衛門伊奈五兵衛^二
差振被遣候様多

伊奈五兵衛

平野次郎右衛門

設楽小左衛門

金丸又三郎

土屋左門

渡邊半四郎

坪内主膳

牧野左京

須田市丞

松平三郎四郎

天野門兵衛

川口兵右衛門

武田道安

同 泰安

土井能登守

松平民部少

松平因幡守

西丸於山里御膳被召上候御馬 上覽申后刻 還御

奥 大草主膳正町野卷殿守御御番士

廿六日

京都^ハ飛脚去廿一日鷹司殿姫君^{當間白殿様} 御入内首尾克相

濟翌廿二日松平美作守品川式部大輔參 内院參御進物差上

天孟頂戴之由

御入内相済^二付御家門其外惣登 城献壽

本多越前守高繩屋敷之内一万坪松平大隅守へ被下為代於澁谷

一万坪越前守へ被下

廿七日

去廿一日 御入内首尾好相済之由注進

御入内相済^二付為御祝儀御阿典御三人方國持大名衆^并在

府之諸大名登 城謁老中

八代蜜柑一箱

上使大久保出羽守 保科肥後守

廿八日

巳下刻黒書院 出御一門方 御對顔

白書院^二諸大名御目見有之^一

伏見殿息女靈花院殿當月廿一日^二逝去之由昨日申來是^ハ

御臺様之御妹之由也

轉法輪右大臣内室死是^ハ宗對馬守娘之由也

屋敷拝領之面々

本庄^二而

同

駿河台^二而

鐵炮洲^二而

小野寺屋敷^江

山本道勾上^ハ屋敷^江

依田玉川隣

右之通被下候老中傳達之

廿二日 於評定所式日寄合稻葉美濃守出座
牧七左衛門へ山田八左衛門屋敷被下之

廿三日

御座之間^江寺社奉行町奉行御勘定頭被 召候 御用

委細不知

今朝祝言

板倉内膳正娘
松平筑後守^江

細川越中守^ハ八代蜜柑十箱重^二献上之

御暇 銀五十枚
時本く三羽折

午後刻西丸^江 渡御御供

水野主膳
天野勘右衛門
矢部次郎左衛門
半井卜養
高野宗清
川村印濟
山本道勾

尾張殿

一 三寶院殿去年峯入之時那須屋十右衛門儀宵坊と名を付致

供候躰著者候故板倉内膳正に令籠舎被仰付候處十右衛門宿候今度長谷三位殿惣領頭所二夜盜に入可申と企申候

處附人在之則召捕籠舎被 仰付候長谷殿去年御死去家督ハ次男二御讓惣領不覺悟者故兼長長谷殿勘當之由申候自今以後珍敷候事と風聞在之右之徒者之御好身當候地歷々之簾中在之由

一 豊前中津今月十四日酉后刻町屋より出火折節風雨烈敷亥刻迄焼失仕候侍屋敷十九軒合力米被 仰付之者 百六十四軒町九町四百八十九軒惣家合七百貳拾老軒

覺

一 江戸舛不同在之二付京舛分計二今度改之横屋藤左衛門二新舛在之候相求向後可被用候以上

西十一月廿九日

右御書付十二月三日高木伊勢守ノ來ル 齋藤源藏 齋藤源藏

塞中御伺 御札拜束巻 筑波掃 知 足 院 切付三口 大坂掃 石丸石見守 銀馬代 參上 本阿弥光察 進物 參上 同 市郎右衛門

御業

勢州掃

久志本式部

御鷹之雁被下 井上相模守 青山大膳亮 小笠原山城守 太田備中守 内藤飛騨守 永井日向守 酒井日向守 堀田備中守 三浦嶋守 増山兵部少輔 那須遠江守 加々爪甲斐守

駿府ノ次飛去廿五日之夜駿府町屋ノ出火少々類火有之由 夜二入於 御座間幸若弥治郎同次郎右衛門二舞二笛二被 仰付候

廿九日 無事

晦日

大坂ノ飛脚彼地御目付徳永平八郎乱氣二付當地ヘ差上旨申來 齋藤源藏 御暇時ノ式 土井能登守永井伊賀守於 御前雁拜領之

柳宮日記記

寛文九年

十二月

朔日

午上刻黒書院 出御如例御一門方 御對顔

白書院 出御如例月御礼 水戸相公

御勝手より 松平新九郎

是者徳永平八郎於大坂令乱氣付為代被遣之終而間之御換

障子明之御次之間伺公之面々並居一同御目見終而入御

右老躰二付願之通隠居被 仰付子主水二跡役被申付度旨甲府殿

御對顔之節御願之通 御直に被 仰出之 戸田作右衛門

右撰州多田院御造營出来付而御勘定之儀穿鑿可仕旨老中

傳之 馬場十郎右衛門岩佐善兵衛多田院御造營中之儀御作事奉

一 勢州内宮火事出来家数式百四五十軒焼失 御宮無別條由

阿部伊豫守ヘ御鷹之雁被下 古郡文左衛門

紀伊重相ヘ以松平因幡守白鳥之毛皮十枚并アメントス一箱被遣之 為御札左京大夫登 城

二日 無事

右ハ先年撰州多田院御造營奉行被仰付處出来以後五六年之内二及大破候付御作事奉行遂穿鑿之旨御目付戸田作右衛門相加御勘定等吟味可仕旨老中傳之

門相加御勘定等吟味可仕旨老中傳之

宝樹院殿御書屋江御名代美濃守

三日

門奈助左衛門

時服式 秋山六左衛門

右府中御馬買より帰参二付被下候也

四日

於評定所式日寄合但馬守出座 水戸宰相殿鷹場ノ雁式被献之

京都ノ飛脚松平美作守品川式部大輔先月廿八日參 被下美作守ハ廿九日式部大輔ハ晦日出京之由注進之

五日

水宰相鷹場小金ヘ為 上使水野主膳被遣之御鷹雁取式被遣之 紀黃門国元ノ使者飯塚兵部右衛門鷹之鶴被献之

六日

御暇時ノ三羽折 小笠原久兵衛 水宰相鷹場ヘ上使為御札少將御登 城 御暇 銀十枚 幸若伊右衛門 御暇 時ノ式 同 次兵衛

七日

水宰相鷹場ヘ一昨日 上使為御札松平志摩守差上之拜領之鷹捉 之雁鴨被献之 酒井修理大夫渾天儀献之

八日

御暇銀十枚 算知

御暇銀十枚 本因坊

御暇銀十枚 算哲

御暇銀十枚 門入

御暇銀十枚 知哲

御暇銀十枚 道策

御暇銀十枚 宗看

御暇銀十枚 宗与

御暇銀十枚 了栄

古筆見 源右衛門

八兵衛

九日

巳下刻黒書院 出御

御臺様へ
銀五十枚
金五十枚錦式百把
真御太刀包永代金十枚

松平陸奥守

龜千代事

右元服被 仰付陸奥守改官位從四位下少將御一字被下綱基

被 仰付新藤五國光御脇差代金六十枚於 御前被下之

伊達兵部少輔

伊達遠江守伊達兵部少輔田村右京亮一同御礼是龜千代元服之御

礼也

箱香 參上 土屋相模守

館林々參上 金田近江守

御目見 青山因幡守

板倉内膳正へ雁式被下宿次

十日

松平美作守

女院御所々歳暮御祝儀具服被進之御使小林与左衛門

十一日

松平美作守

品川式部大輔

右於 御座之間 御目見過

黒書院

松平筑前守

右元服被 仰付筑前守改官位四品綱之御一字被下之御盃頂

戴御肴被下杯持退之時御脇差左吉貞代金三十枚於 御前

拝領之

大崎三左衛門

飯塚兵部左衛門

大崎三左衛門

飯塚兵部左衛門

十二日

跡目被 仰付候面々

式日出座美濃守

宮原左京

高千二百五十五

内千石

内式百五十石

高千石

内千五百石

五百石

小十人番頭与五右衛門子

寄合庄三郎子

新庄千助

石丸伊右衛門

同 左兵衛

永田鍋之助

同 傳之助

渡邊次郎右衛門

坪内藤七郎

夏目長右衛門

普沼彦十郎

三枝平六郎

嶋田数馬

真野甚之丞

向井長四郎

矢部吉之助

飯河久太郎

大久保新右衛門

坂部二郎大夫

佐々木一郎右衛門

鳥居八郎右衛門

竹村五郎大夫

高嶋右衛門七

廣井宗以

萩原十大夫

大久保新五右衛門

神原傳兵衛

金阿弥

鈴木彌一郎

鶴飼七右衛門

鈴木左介

岡本源左衛門

五味与五兵衛

馬場仁左衛門

恒川清右衛門

江口作右衛門

芦澤十兵衛

富士見番庄兵衛子

同 喜兵衛子

富田卯之助

小知金左衛門

日根野太郎兵衛

石川勘介

伊阿弥筑後

絹山伊右衛門

竹内彦左衛門

竹内忠三郎

池原猪右衛門

野村瀬兵衛

重本金平

喜多田作十郎

佐藤喜大夫

村山市之丞

高井十右衛門

右之通跡式被仰付旨老中被傳之

十三日

老萬石以上之諸大名衆より歳暮之御小袖今朝進上之

右同断^二付五萬石以上之面々^一 御臺様^江御小袖代白銀進

上之

土井能登守

右甥差合^二付登 城無之是^一 同姓信濃守子息死去^二付也^一

御煤拂有之

板倉内膳正^一水菜献上之^二付 兩上へ御進献之

松平美作守へ重^金五千兩拝借之最前上京以前之拝借五千兩と

都合一萬兩也

十四日

廣幡亜相去頃逝去実子無之仍久我黃門息令養子也廣幡^一諸

家各別故御執 奏新家被相立之條養子願之儀存生之内 江戸

可被得 上意之处其儀無之間遣領悉雖可被召上之最前達 叡

聞之由被及 聞召之間右家領千石之内五百石被遣之旨被 仰

出候 板倉内膳正へ奉書

廣井宗以迄壽之間
是より壽賜之間

右衛門仕禰子黒田万千代事

御臺様へ
銀三十枚
真御太刀備前正恒代金七枚
銀三百枚小袖二十
女中有差

右衛門仕禰子黒田万千代事

松平筑前守

改官位四品綱之御一字被下之御盃頂

戴御肴被下杯持退之時御脇差左吉貞代金三十枚於 御前

紀黃門使者

大崎三左衛門

飯塚兵部左衛門

大崎三左衛門

飯塚兵部左衛門

高家 主膳子

宮原左京

廣井宗以迄壽之間
是より壽賜之間

廣井宗以迄壽之間
是より壽賜之間

甲州樂壽堂立役人十兵衛子

板倉市正組三右衛門子

高田庄右衛門組与頭七右衛門子

御同朋 親阿弥子

元火之番組頭太兵衛子

廣敷添番十郎右衛門子

川越鳥見三郎左衛門美子

欠所物奉行源兵衛子

同 弥兵衛子

後目付太右衛門子

挑灯奉行加左衛門子

奥火之番伴兵衛子

同 二郎右衛門子

十四日也

右同断^二付五萬石以上之面々^一 御臺様^江御小袖代白銀進

御煤拂有之

板倉内膳正^一水菜献上之^二付 兩上へ御進献之

松平美作守へ重^金五千兩拝借之最前上京以前之拝借五千兩と

都合一萬兩也

十四日

廣幡亜相去頃逝去実子無之仍久我黃門息令養子也廣幡^一諸

家各別故御執 奏新家被相立之條養子願之儀存生之内 江戸

可被得 上意之处其儀無之間遣領悉雖可被召上之最前達 叡

聞之由被及 聞召之間右家領千石之内五百石被遣之旨被 仰

出候 板倉内膳正へ奉書

十五日

巳刻黒書院 出御 御刀 内藤上野介 御一門方御對顔但尾張殿
持病^二面 無登 城白書院 出御如例月諸大名 御目見

雁式

鷹場掃蕩

水宰相殿

箱香

半年代

松平和泉守

（太刀目録
紗綾十卷

開白殿使者

廣庭中務大輔

右御入

内相濟以 上使色々御遺物御札

羽二重十疋

同 政所使者

神谷民部

同断

同 大政所使者兼

廣庭中務大輔

繩珠十卷

同断

東卷

山門惣代

右堂之佛閣押修理造畢^二付

（太刀目録
時ふく式

松平陸奥守家老

柴田外記

（太刀目録
三

片倉小十郎

太刀目録

澤田玄蕃

右先日陸奥守元服^二付

（太刀目録
萬蒲皮十枚

荒井開所奉行

中根平十郎

箱香

御代官

秋田九兵衛

進物

遠州

二諦坊

今夕節分^二付御祝雅業頭役之大奥、本多美作守

十六日

御暇 銀十枚

開白殿同政所使者

廣庭中務大輔

時ふく式

政所使者

神谷民部

時ふく式

一保科肥後守登

城

十七日

辰下刻紅葉山

御社参 御長袴 御先

御先立

御供^二は

松平讚岐守

井伊掃部頭

永井伊賀守

板倉筑後守

松平因幡守

此外御近習之面々

御刀

石川美作守

御香

神尾播磨守

御先へ掃部頭豊後守美濃守但馬守

日門拜迎

尾黄門水宰相陪拜

即刻 還御御先^江 御三人方参上 還御後御両典参拜也

御暇 時ふく式

二諦坊

赤井坊使僧

十八日

御暇 銀五枚

女院御使

十九日

前出

右上意之節金五千両拜借之去十三日五千両拜借都合毫萬

兩拜借之

津輕越中守

右^者参勤之時分之處夷人之儀^二付人数差出太儀に 思召

旨来年参勤御免被成旨老中^ら奉書被遣之

川嶋周庵

右^者向後大奥^江被為附候間女中療治可仕旨老中被傳之是

宗菴去^ル頃死去^二付^面也

廿日

辰下刻紅葉山^江

御佛参 御長袴 御先

松平讚岐守

井伊掃部頭

老中不残

土井能登守

永井伊賀守

板倉筑後守

松平因幡守

御近習之面々

大久保出羽守

松平紀伊守

御刀

御香

尾黄門水宰相陪拜

掃部頭雅業頭豊後守大和守但馬守御先

日門拜迎

廿一日

三年勤無足之面々^江 新規御切米被下

御書院番六十二人

御小姓組八十人

大御番四十六人

小十人組三人

右御定之通御切米被下旨老中被傳之

右名前別紙

御暇時ふく式

銀座

狩野七郎右衛門

廿二日

於評定所式日寄合土屋但馬守出座也

今曉少々初雪^二付御家門使者被差上之

廿三日

巳下刻黒書院 出御

金馬代

侍從御礼

松平美作守

（羅々^二掛十間
金馬代

從四位上御礼

品川式部大輔

参勤御礼

大久保加賀守

柳生飛騨守

同 大膳

能勢山城守

久保吉右衛門

大橋長左衛門

飯高七兵衛

秋浦半左衛門

森 新兵衛

御膳奉行六人

御破損奉行十人

浅草御藏衆八人

金三枚
時ふく武羽折
金武枚ヲ

本庄奉行

徳山五兵衛

馬場三郎左衛門

三嶋清左衛門

横山甚右衛門

鶴殿甚左衛門

坪内木工助

伊奈彦右衛門

野々山弥兵衛

山木安兵衛

武藏八郎右衛門

石野小左衛門

神谷長五郎

根岸長兵衛

溝口佐右衛門

須田二郎太郎

松平二郎左衛門

花井次左衛門

浅井八郎左衛門

都筑長左衛門

国領半兵衛

三田二郎右衛門

三輪平左衛門

服部六左衛門

勝屋六郎兵衛

本多九右衛門

拓植傳兵衛

右之通被下旨老中傳之

御加増并新規御扶持方被下面々

武百俵御加増
武百俵被下 新規
百五十俵 新規
百五十俵 新規
百五十俵 新規
御納戸五部大十子
喜左衛門子
山田太郎右衛門
権之助子
志水治左衛門
御納戸
原田甚五兵衛
与語古菴
天野三十郎
鈴木宇右衛門

百五十俵被成下
内八十俵御加増

百五十俵被成下

百五十俵に被成下

三十俵式人扶持 新規

十人扶持 在江戸中被下

米式十石 御加増

五人扶持

参勤箱香

秋元抵津守

保科越前守

芦野左近

中嶋与五郎

御後頭
神尾市左衛門組与頭

松高藤右衛門

同
神原大膳組与頭

松井与三兵衛

同
高田庄右衛門組与頭

龍川庄大夫

同
小間遣頭彦兵衛子

浅井九兵衛

連歌師
玄祥

東儀淡路

葛野一郎兵衛

一噌八郎右衛門

阿部播磨守

松平備前守

土屋民部少輔

西郷若狭守

榊原越中守

福原淡路

福原内記

今村傳三郎

御供は

井伊掃部頭

老中

土井能登守

永井伊賀守

御近習之面々

松平内記

松平紀伊守

尾黄門水宰相陪拜

御先へ掃部頭雅乘頭豊後守美濃守大和守但馬守

増上寺方支拜迎

辰下刻紅葉山御佛参御長袴御先

廿四日

右御拝礼終而還御御三人方御先参上御両典還御以

後参詣

駿府論所
見分席
御齋儀損
修禊奉行
被御付出来
欠
小袖式
羽折
金老枚ヲ

増上寺傳通院登

城増上寺御茶御菓子傳通院御菓子進上之

日門御登山付医師竹田法印差添可被遣旨

廿五日

官位被仰付之

侍從

佐竹右京大夫

藤堂和泉守

松平土佐守

松平左門

真田右衛門

京極百介

石川玄蕃

松平左門

池田信濃

池田兵部

真田仙千代

秋月右京

井上大學

水野主膳

酒井采女

柴田七九郎

水野宮内

戸田三大夫

水野主膳娘

久貝彌右衛門

松浦猪右衛門娘

本多彌八郎

幸若彌二郎

同 二郎右衛門

但馬守惣領

若狭守

伊豆守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

備前守

御小姓組之頭

鳥居權之助

諏訪兵部 頼隆

内田傳左衛門

山岡弥五兵衛

前田帶刀 孝矩

右當年在江戸付被下之

銀十枚

金武枚

布衣被 御付

一老季居之奉公人来年も三月五日迄可召仕候旨被 仰出候

縁組被 仰候面々

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

土屋土佐事
土佐守
中山大膳事
市正
右者 昨日諸大夫被 仰付候由也

御納戸坊主六人
御納戸坊主廿七人
表日記坊主
御小納戸六尺六人

右例年之通被下置候

一 風ハケシキ時分急用、各別宿罷在火之元可被申付候假振廻之約束候共断申遣相延可申候事

一 風吹之候時分、面々之屋敷火之元堅可申付候事辻番、増人指加節に見廻りあやしき者見出し候はば捕可申候火付道具など有之候取之候、町奉行衆へ遣可申候但あやしき物とらへ候者、御褒美可被下候事

一 常々隣近所申合若近所之火事之節出合早速消可申者也

十二月廿七日

一 御祝之御膳如嘉例於奥方献上之本多美作守働之
一 為歳暮之御祝義御一門方其外御請代衆少々登 城

寛文九年十二月廿一日
一 三年勤無足之御小姓組 八十八人 御書院番 六十人 大御番 四十六人 小十人組 三人 右之面々御切米被下之

御小姓組 御書院番 御小納戸坊主廿七人 御納戸坊主六人 表日記坊主 酒井采女組 松田兵大夫 小沢二郎大夫 稲植善右衛門 横地八十郎 大河内七郎左衛門 松浦八兵衛 松平内記組 松下善兵衛 猪飼平助 岡部新五兵衛 坪内甚三郎 富永新五郎 柴山小左衛門 戸田喜六郎 松平監物組 松平市之丞 木村源太郎 土岐彦九郎 興津久七郎 妻木四郎右衛門 天方庄兵衛 戸川彦四郎 大沢八郎左衛門 森川三郎右衛門 水野主膳組 玉虫又三郎 丹羽傳助 天野左内 山本平兵衛 下曾根新十郎 川村左近 千本八右衛門 六郷八郎兵衛 美濃部八兵衛 堀田對馬守組 間宮甚十郎 宮崎助大夫 市岡彦右衛門 近藤源左衛門 田付三五郎 山本甚兵衛 大久保源内 長谷川定右衛門 本多傳藏 矢嶋三左衛門 石川美作守組 松下彦兵衛 内藤源助 佐橋七之助 廣戸五兵衛 大久保出羽守組 山中五郎左衛門 安藤傳十郎 渡辺半七郎 安倍源左衛門 本多土佐守組 永井善右衛門 谷 与五郎 前場孫十郎 坪井三右衛門 花井源次郎 嶋 兵四郎 中嶋源五左衛門 大草主膳正組 肥田十郎右衛門 堀田善右衛門 松田五左衛門 伏見權七郎 寛 平十郎 坪内源五郎 小長谷二郎兵衛 小野源右衛門 水野友之助 柴田七九郎組 小出伊織 松平彦十郎 小出弥三郎 嶋田十兵衛 天野甚九郎 大沢十右衛門 以上八十人御小姓組

植村志摩守組

高木甚治郎 高山半左衛門 加々爪三五郎 高力刑部 毛利十郎左衛門 齋藤庄左衛門 間宮長兵衛 土岐左衛門 安藤五郎兵衛 安西甚太郎 松平縫殿頭組 小笠原三左衛門 大河内孫太郎 小笠原孫左衛門 安部助九郎 平岩助右衛門 長 彦四郎 中根新三郎 諏訪五郎左衛門

武田越前守組 近藤左兵衛 倉橋七郎兵衛 溝口傳四郎 折井瀬兵衛 落合小平次 鳥居久五郎 近藤半助 市岡久三郎 太田甚四郎 久世權三郎 石巻七郎左衛門 岡田左太郎 三枝隠岐守組 花房安右衛門 千村清左衛門 品川平四郎 久貝伊兵衛 諏訪宇右衛門 高木宇右衛門 美濃部左兵衛 安藤理兵衛 天野三左衛門 松平權右衛門 倉橋三郎五郎 織田半弥 酒依清左衛門 蛭川八兵衛 宅間八郎兵衛 石川百助 町野老岐守組 設楽甚太郎 土屋兵部少輔組 山田三郎左衛門 成瀬左兵衛 内藤内匠 板倉伊右衛門 久世右衛門

大久保山城守組 立花左兵衛 高木三左衛門 川口式部 古田彦左衛門 宇都野金左衛門 大岡五左衛門 永井對馬守組 森川市右衛門 石谷九八郎 鈴木孫四郎 以上六十人御書院番 松平豊前守組 中島七郎右衛門 曾雄兵助 松平弥五左衛門 逸見七兵衛 福井伊右衛門 小嶋源藏 中根日向守組 田邊惣十郎 田中大隅守組 小林長兵衛 小長谷次大夫 鈴木新五右衛門 本多万四郎 米倉新右衛門 加藤助十郎 松波三十郎 内藤若狭守

竹尾喜左衛門 同 戸張源五右衛門 同 名取三郎左衛門 同 山田善右衛門
遠山三左衛門 同 川村善次郎組 同 小嶋三左衛門 同 青柳新五右衛門 同 朝比奈新太郎
牛奥甚十郎 以上上勤二百四人
御小姓組八十人御書院番五十九右人新御番十四人
上勤式百廿六人 大御番五十八人御右筆式人御殿物奉行一人
御納戸式人十人組十人
酒井采女組
小倉十兵衛 同 建部宇右衛門 同 浅井權十郎 同 本多木工助
市岡左大夫 同 山崎十兵衛 同 藤室主馬 同 折井市左衛門
市橋三四郎 同 甲斐庄四郎右衛門 同 富永孫大夫 同 西尾甚助
依田源六郎 同 西山八兵衛 同 徳山權十郎 同 新庄甚助
松平内記組
牛込傳左衛門 同 松前八左衛門 同 岡部三右衛門 同 柴田權兵衛
曾根五郎兵衛 同 宮城主殿 同 能勢半十郎 同 北條左近
酒井小平次 同 飯田三左衛門 同 酒井作右衛門 同 神尾三郎左衛門
品川權大夫 同 三枝長兵衛 同 伊東甚之丞 同 設業三左衛門
神保又左衛門 同 大岡甚十郎 同 稲葉勘右衛門 同 徳永三左衛門
高林与五右衛門 同 初鹿野一郎兵衛 同 立花宇右衛門 同 三宅左兵衛
堀田對馬守組 同 宇都野金右衛門 同 立花与兵衛 同 須田三郎兵衛 同 秋田平大夫
宇都野金右衛門 同 柴田七九郎組 同 石卷八郎左衛門 同 春田宇右衛門
細井金五郎 同 服部久右衛門 同 井戸甚之丞 同 川口茂右衛門
天野六郎左衛門 同 石川美作守組 同 山崎勘兵衛 同 鈴木兵九郎
森才兵衛 同 跡部宮内 同 上田太郎左衛門 同 久松弥一郎
堀八郎右衛門 同 大久保出羽守組 同 山岡八郎左衛門 同 戸田二郎左衛門
大久保出羽守組 同 中根喜藏 同 伊藤傳五郎 同 川井三郎兵衛
中山市之丞 同 小幡五左衛門 同 大沢左兵衛 同 間宮文左衛門 同 蜂屋傳左衛門
松平源助 同 算太郎助 同 加藤源左衛門 同 遠山半兵衛 同 倉橋惣三郎
小笠原伊兵衛 同 神原傳左衛門 同 細井仁兵衛 同 堀三左衛門
松平甚兵衛 同 天野彦兵衛 同 大久保右衛門人 同 内藤權九郎
阿倍傳八郎 同 曲淵与左衛門 同 岡野平兵衛 同 長崎弥左衛門
中野傳右衛門 同 五味小才次 同 大関勘右衛門 同 瀧川久三郎
川合源三郎 同 大久保權左衛門 同 内藤三郎兵衛 同 押田五郎大夫
阿倍八之丞 同 大関勘右衛門 同 多門左次兵衛 同 本多主膳
富水源大左衛門 同 三枝隠岐守組 同 石卷三左衛門 同 久松市左衛門 同 山下五郎右衛門
三枝隠岐守組 同 朝岡八大夫 同 永井對馬守組 同 三浦甚五兵衛 同 林權左衛門 同 瀧美九郎兵衛
朝岡八大夫 同 新井平兵衛 同 永井對馬守組 同 伊奈五左衛門 同 前場久三郎 同 井戸新右衛門 同 有賀長三郎
伊奈五左衛門 同 神原權七郎 同 小沢彦大夫 同 井戸新右衛門 同 有賀長三郎

渡辺与右衛門 同 戸川内藏助 同 町野老岐守組 同 津金理左衛門
町野老岐守組 同 富田大學 同 土屋兵部少輔組 同 遠山忠四郎 同 桑山主水
秋浦武兵衛 同 土方宇右衛門 同 徳永頼母 同 土岐作右衛門
水野十兵衛 同 畠山主税 同 田村助大夫 同 土岐源右衛門
大久保山城守組 同 長谷川權左衛門 同 能勢八左衛門 同 妻木傳藏
天野孫助 同 多門藤兵衛 同 青木又右衛門 同 水野長兵衛
松平六左衛門 同 小林吉大夫 同 遠山半左衛門組 同 石川源右衛門
大久保彦兵衛組 同 關五郎右衛門 同 小森源兵衛組 同 遠山半左衛門組
山角藤五郎 同 山角藤五郎 同 大久保彦兵衛組 同 河野九郎左衛門
同 大久保彦兵衛組 同 大久保平三郎 同 遠山半左衛門組 同 長田与右衛門
大久保彦兵衛組 同 糟屋弥右衛門 同 戸田相模守組 同 蜂屋源五兵衛 同 長尾權之助
同 坂部八郎右衛門 同 勝屋勘左衛門 同 本多八左衛門 同 小尾十郎左衛門
同 幸田七左衛門 同 西山喜六郎 同 山中市兵衛 同 松風理左衛門
酒井伊藤守組 同 都筑市左衛門 同 幸田七左衛門 同 小笠原久左衛門 同 朝比奈五郎大夫
同 福井勘兵衛 同 瀧美太郎右衛門 同 高林甚右衛門 同 土屋次郎左衛門 同 久留善四郎
同 米倉半左衛門 同 伊東九郎左衛門 同 松下忠兵衛 同 神原五郎左衛門 同 佐橋惣左衛門
同 河内太左衛門 同 中基日向守組 同 川上六郎左衛門 同 小林七郎兵衛 同 加藤平兵衛
同 青沼藤右衛門 同 駒井孫四郎 同 本多三左衛門 同 山田備後守組 同 春日佐五右衛門
同 天野孫兵衛 同 本多甚兵衛 同 岩間八郎左衛門 同 山上五郎左衛門 同 鈴木三右衛門
同 市川瀬兵衛 同 伴新五右衛門 同 伏見勘十郎 同 三雲新十郎 同 鈴木三右衛門
同 水野九右衛門 同 岡部丹波守組 同 浅羽孫三郎 同 山角權兵衛 同 伊勢平左衛門
同 入戸野又兵衛 同 大久保九兵衛 同 小林三郎左衛門 同 田澤五兵衛 同 遠山源兵衛
御右筆 同 小嶋次郎左衛門 同 御殿物奉行 同 朝比奈藤左衛門 同 大井理兵衛
大河内一郎右衛門 同 山岡弥五兵衛組 同 日根野權十郎組 同 多田八郎左衛門
御納戸 同 宮重久右衛門 同 窪田兵大夫 同 夏目彦左衛門 同 手賀三左郎
阿倍忠右衛門組 同 神谷助左衛門 同 深尾四郎兵衛 同 山田半右衛門 同 浅原又左衛門
大久保甚兵衛組 同 小尾甚右衛門 同 本多十左衛門 同 佐藤傳助

以上 上勤式百式拾六人
右拝領之黄金香何も番頭御納戸より請取之但駿府在番之御書
院番二條大坂在番之大御番拜領金ハ月番之番頭請取之